

柴田町自殺対策計画



みんなで支えよう心と命

～誰も自殺に追い込まれることのない柴田町を目指して～

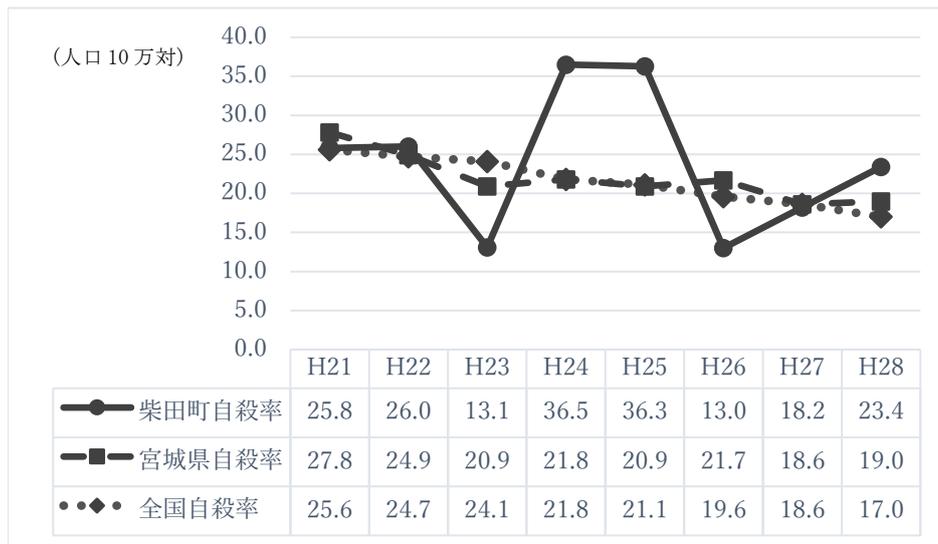
計画期間：平成 31 (2019) 年度～令和 6 (2024) 年度

町では、自殺対策基本法に基づき、自殺対策の本質が生きることの支援にあることを改めて確認し、保健・医療・福祉・教育・労働その他の関連施策について、関係機関と連携して包括的な自殺対策を推進するため本計画を策定しました。

自殺の現状

(1) 自殺死亡率（人口 10 万人当たりの自殺者数）

宮城県・全国は減少傾向にありますが、当町においては年によって増減があります。



(2) 対象別の状況

① 子ども・若者

- ・20～30歳代の死因の1位が自殺である。
- ・「過去1年以内に本気で死にたいと考えたことがある」割合は女性20歳代が最も高い。

② 働き盛り世代

- ・自殺者を性・年代別、職業の有無別にみると男性20～50歳代の有職者が多い。
- ・死にたいと思った原因について、男性20～50歳代は「勤務や仕事のこと」が最も多い。

③ 高齢者

- ・自殺死亡率を性・年代別にみると、男性70歳代の割合が最も高い。
- ・60歳以上の同居人有無別自殺者の割合では、男性70歳代の同居人ありの割合が最も高い。

④ 生活困窮者

- ・自殺者を職業の有無別にみると、無職者が多い。
- ・自殺の原因・動機の3位に「経済・生活問題」が入る。

基本認識

- (1) 自殺はその多くが追い込まれた末の死である
- (2) 自殺の多くは防ぐことができる社会的な問題である
- (3) 自殺を考えている人は、悩みながらも心のSOSサインを発している

基本方針

- (1) 生きることの包括的な支援として推進
- (2) 関連施策との連携による総合的な対策の展開
- (3) 対応の段階に応じたレベルごとの対策の効果的な連動
- (4) 実践と啓発を両輪として推進
- (5) 関係者の役割の明確化と関係者による連携・協働の推進

計画の数値目標

数値目標：R6(2024)年までに自殺死亡率を30%以上減少させ、18.0以下とする

	現 状 値	目 標 値
	H30(2018)年	R6(2024)年
	H24(2012)～H28(2016)年の平均	H29(2017)～R4(2022)年の平均
自殺死亡率	25.5	18.0以下
(自殺者数)	(9.8人)	(7人以下)

30%減

基本施策

- (1) 地域におけるネットワークの強化
- (2) 自殺対策を支える人材の育成
- (3) 町民への啓発と周知
- (4) 生きることの促進要因への支援

(1) 子ども・若者への対策

- ・いのちの教育・いじめ対策の推進
- ・居場所づくりの推進
- ・SOSの出し方の教育
- ・相談窓口の周知
- ・子育て世代への相談支援の充実



(2) 働き盛り世代への対策

- ・心の健康づくりについての啓発活動の強化
- ・身近な人の気づきの促進と普及啓発



(3) 高齢者への対策

- ・生きがいづくりの推進
- ・社会参加の促進
- ・心の健康教育での啓発活動
- ・本人・世帯状況の把握
- ・地域での気づきと見守り体制の充実
- ・介護問題を抱える家族の支援体制の充実



(4) 生活困窮者への対策

- ・包括的な相談支援体制の充実
- ・生活安定のための支援の実施

自殺のサイン（自殺予防の十箇条）

次のようなサインを数多く認める場合は、自殺の危険が迫っています

- 1 うつ病の症状に気をつけよう
- 2 原因不明の身体の不調が長引く
- 3 酒量が増す
- 4 安全や健康が保てない
- 5 仕事の負担が急に増える、大きな失敗をする、職を失う
- 6 職場や家庭でサポートが得られない
- 7 本人にとって価値のあるもの（職、地位、家族、財産）を失う
- 8 重症の身体の病気にかかる
- 9 自殺を口にする
- 10 自殺未遂におよぶ

評価指標

項目	現状値 H29(2017)年	目標値 R6(2024)年
①(仮称)自殺対策ネットワーク連絡会の開催	未設置	年1回
②ゲートキーパー養成講座受講者のうちゲートキーパーの役割について「よく理解できた」と回答した人の割合の増加	41.8%	50%
③心の健康づくりに関する健康教育の参加者数の増加	260人	315人
④20歳代から30歳代の方へ心の健康自己チェック票(心の健康づくり・相談窓口掲載)の配布	未実施	200人
⑤思春期保健事業でのSOSの出し方に関する教育・普及啓発の実施	未実施	全中学校(3校)
⑥睡眠による休養を十分にとれていない人の割合の減少*	22.3%	15%
⑦ストレスを上手に解消できている人の割合の増加*	62.3%	75%
⑧悩みなどを気軽に相談できる相手がいる割合の増加*	67.2%	74%

※出典:「第2期健康しばた21」中間評価のための町民健康調査結果(H29(2017))

みんなで心と命を支える事業(主な抜粋)

ゲートキーパー 養成講座

地域の身近な
サポーターを養成

メンタルヘルス 講演会

心の健康づくりに
関する知識の普及
啓発

心の健康 自己チェック

自己チェックと
相談窓口の周知

心の健康相談

精神科医による
個別相談
(毎月1回)

町民誰もが
ゲートキーパー※

気づき、傾聴、
つなぎ、見守り

発行日 平成31年 3月策定
令和 3年12月改訂

編集・発行

柴田町役場健康推進課

柴田町船岡中央2丁目3番45号

TEL:0224-55-2160 FAX:0224-55-4172

E-mail:health@town.shibata.miyagi.jp

※悩んでいる人のサインに気づき、声をかけ、話を傾聴し、必要な支援につなげ、見守ること